

大学の世界展開力強化事業（平成24年度採択）中間評価結果

大 学 名	早稲田大学
整理番号	Ⅱ－5
構 想 名	「日本語教育学」総合学習プログラムを通じた重層的・循環的人材育成事業

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 1.5em;">B	当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。
(コメント)	<p>本プログラムは、早稲田大学と ASEAN 諸国の大学が協働して、国内外の日本語学習者・学習ニーズの多様化に対応した教育プログラムを構築し、多様な日本語学習者に対応できる日本語教育者及び実践的日本語運用能力を身に付けて幅広い分野で活躍する人材を養成することを目的としている。</p> <p>早稲田大学の中長期計画の一翼を担うプログラムとして位置付けられていることは評価できるが、中間評価調書において自ら表明しているとおおり、本プログラムは未だ「道半ば」と判断せざるを得ない。</p> <p>中間評価までの交流学生数は、派遣・受入ともに数値目標を下回っており、海外相手大学側の事情による受入収容数の制限やアカデミックカレンダーの違いといった要因を挙げているが、本プログラムの開始前から交流実績のある大学でもあり、事前に十分予測可能だったと考えられる。今後は、本プログラムの長所をより強く訴えて、交流学生数の増加を図ることが必要である。</p> <p>事業目的を達成するには、予算面を含むより明確な計画の立案と着実な実施が求められ、学生にとって意味のある取組となっているかどうかをしっかりと把握するなど、より一層の改善と努力が必要である。</p>